

ワイヤレスSMALGO 小動物用アルゴメータ



関節や腰に当てて痛覚を測定
共通コントロールユニットは
BIOSEB製他機器とも共用可能

適用研究分野：疼痛、代謝等

マウス、もしくは、ラットの関節への圧刺激に対する痛みの閾値を測定できます。薬物スクリーニング、表現型検査の他、神経障害、炎症、術後疼痛の研究に適しています。

親指にフィットするので、望みの位置に圧力をかけることができます。通常、腰痛や関節痛の評価のために、腰椎、もしくは、膝関節に用いられます。

同じコントロールユニットで、マウス用/ラット用ピンチャーのセンサー部分を差し替えて利用することができます。中継インターフェースとワイヤレスで接続するため、設置場所と試験者の動きにおいて自由度が高まります。

標準構成

- 持ち運び用キャリーケース
- センサー
- センサー用チップ (3,5,8 mm)
- ワイヤレス痛覚センサー用 インターフェース(BIO-ALGOKIT)
- 解析用ソフトウェア (BIO-CIS2)
- フットスイッチ
- 電源アダプター
- RS-232ケーブル1本
- 電源コード



仕様

インターフェースのメモリー容量	最大100件分
電源	AC100~220 V、50/60 Hz/バッテリー駆動
測定範囲	0~1500 g
分解能	0.1 g
精度	0.1 g
サンプリング速度	1000 Hz
直径 (チップ)	3、5、8 mm (ステンレス)

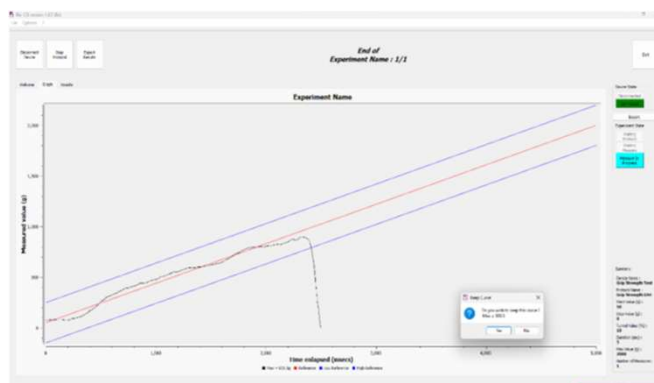
型式	品名
BIO-SMALGO-WRS	SMALGO 小動物用アルゴメータ (BIO-CIS2ソフトウェア付属)
オプション	
BIO-SMG-WRS-STM	ワイヤレスSMALGOセンサー

注：BIO-SMG-WRS-STMはスペアのセンサーです（インターフェースなし）

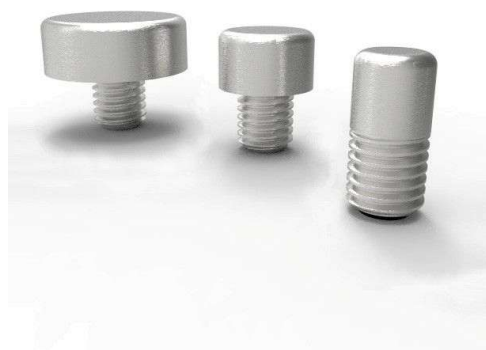
専用のソフトウェア（BIO-CIS2）で下記に対応いたします：

- ・ 実験内容の設定
- ・ 圧刺激のリアルタイムモニタリング
- ・ 実験結果のグラフ化
- ・ 実験結果のエクスポート（CSV形式）

必要環境：Windows 7 32 bitもしくはWindows 7~11 64 bit、CPU Intel Core i3 8th gen以降、メモリ4 GB RAM以上



ステンレス製チップ3種で、マウス/ラットいずれにも対応します



インターフェースで多種の機器と接続！
どの機器もBIO-CIS2で実験の制御ができます

